

# ミツバチ科学索引

## 第25巻 (2004)

題名, 執筆者, 頁  
大項目は十進分類に準ずる  
\* 印は重複収録を示す

### 歴史

満州ミツバチ 100 万群計画 - 海を渡った養蜂家の  
足跡 - 和田 依子 1

### 医学

プロポリス成分 CAPE およびその類縁体の癌転移抑制  
活性に関する研究 \* 門田 重利, 手塚 康弘 107  
プロポリスに含まれるフラボノイドの吸収・代謝 \*  
熊澤 茂則, 下位 香代子, 中山 勉 152

### 植物学

ハチミツ中の蜜源指標 \* 中村 純 41

### ハチ目

都市における社会性ハチ類の生態と防除 IV. スズメ  
バチ類とアシナガバチ類の発生状況 松浦 誠 11  
都市における社会性ハチ類の生態と防除 V. スズメ  
バチの都市における生活史と適応 松浦 誠 63  
都市における社会性ハチ類の生態と防除 VI. マルハ  
ナバチの発生状況と都市への適応 松浦 誠 97  
都市における社会性ハチ類の生態と防除 VII. 外国  
におけるハチ問題 \* 松浦 誠 165

### ミツバチ属

都市における社会性ハチ類の生態と防除 VII. 外国  
におけるハチ問題 \* 松浦 誠 165

### ミツバチ一般 (生物学・教育)

総合学科高校における養蜂農家と連携した教材開発  
のとりくみ 建元 喜寿 81  
セイヨウミツバチの攻撃的な働き蜂の脳から同定さ  
れた Kakugo ウイルス  
藤幸 知子, 竹内 秀明, 久保 健雄 145

### 各地の養蜂

バングラデシュの養蜂展望と蜜源植物の重要性  
Md. Abdul Hannan 76  
ニュージーランドの養蜂事情 中村 純 181

### 養蜂一般・蜂群管理

プロポリス採集方法が鉛の混入量に与える影響 \*  
E. Bedascarrasbure, L. Maldonado, A. Alvarez 129  
医薬品質マヌカハチミツの生産 \*

Young Mee Nicholls, Claire Newlands 159

### 生産物一般

ローヤルゼリータンパク質の健康機能  
Jozef Šimuth, Katarina Bilikova 53  
ミツバチ花粉の抗酸化作用 - 他のミツバチ生産物  
との比較 - 池野 久美子, 柿本 佳名子, 中村 正,  
池野 武行, 篠原 力雄 113  
栄養の宝庫「蜂の子」 鳴海 周平 119

### ハチミツ

ハチミツ中の蜜源指標 \* 中村 純 41  
ハチミツ購入の意識調査  
岸野 千絵, 生内 香織, 安藤 達彦 125  
医薬品質マヌカハチミツの生産 \*  
Young Mee Nicholls, Claire Newlands 159

### プロポリス

プロポリス成分 CAPE およびその類縁体の癌転移抑制  
活性に関する研究 \* 門田 重利, 手塚 康弘 107  
プロポリス採集方法が鉛の混入量に与える影響 \*  
E. Bedascarrasbure, L. Maldonado, A. Alvarez 129  
プロポリスに含まれるフラボノイドの吸収・代謝 \*  
熊澤 茂則, 下位 香代子, 中山 勉 152

### 時事

ミツバチを追いかけて - クレーン博士の日本滞在記 -  
Eva Crane 25  
第 38 回国際養蜂会議参加報告  
酒井 哲夫・榎本ひとみ 35  
玉川大学におけるミツバチ研究の新たな発展に向けて  
佐々木 正己 49  
新生アジアのためのミツバチ - 第 7 回アジア養蜂  
研究協会大会報告  
榎本 ひとみ・笠原 麗美・久志 富士男 88  
第 26 回ミツバチ科学研究会に参加して  
相田 由美子 93  
アピモンディア 2005 第 39 回国際養蜂会議の開催  
(特集) 132  
第 7 回国際蜂療大会に参加して 中村 純 142  
第 22 回国際昆虫学会議報告 吉田 忠晴 187  
ブラジルでの熱帯養蜂会議「ミツバチ生産物の医学的  
研究」シンポジウム 松香 光夫 189

## 執筆索引

図書紹介の筆者は  
含まれていない

A		K		O	
相田由美子	93	門田重利	107	生内香織	125
Alvarez, A.	129	柿本佳名子	113	S	
安藤達彦	125	笠原麗美	88	酒井哲夫	35
B		岸野千絵	125	佐々木正己	49
Bedascarrasbure, E.	129	久保健雄	145	下位香代子	152
Bilikova, K.	53	熊澤茂則	152	篠原力雄	113
C		M		Simuth, J.	53
Crane, E.	25	Maldonado, L.	129	T	
E		松香光夫	189	竹内秀明	145
榎本ひとみ	35, 88	松浦誠	11, 63, 97, 165	建元喜寿	81
F		N		手塚康弘	107
藤幸知子	145	中山勉	152	W	
H		中村純	1, 119, 142, 181	和田依子	1
Hannan, MA	76	中村正	113	Y	
久志富士男	88	鳴海周平	119	吉田忠晴	187
I		Newlands, C.	159		
池野久美子	113	Nicholls, Y.M.	159		
池野武行	113				

## ニュース

## 生き物文化誌学会例会

## 「蜂と養蜂の文化誌」開催

10月4日に静岡市日本平ホテルで生き物文化誌学会の第7回例会が「蜂と養蜂の文化誌」をテーマに開催され、「家畜化された昆虫たち」(梅谷献二)、「人に役立つミツバチとその生産物」(松香光夫)、「伝統養蜂にみるハチとヒトの関係」(佐治靖)、「タイの村落開発およびシリキット王妃プロジェクトにおける養蜂の役割」(シリワット・ウォンシリ)の4題の講演があった(講演内容については後日掲載予定)。参加者は養蜂家や学会員など約90名で、当施設は企画段階から参画、静岡県養蜂組合も協力参加した。

## 日本補完代替医療学会学術集会

10月29-31日に金沢市の石川県立音楽堂を会場として「補完代替医療のエビデンスを求めて」をテーマに日本補完代替医療学会第7回学術集会が開催された。一般発表(ポスター)でプロポリスに関する3題の発表があったほか、2日目午前にはプロポリス研究者協会(PRA)によるサテライトセミナー「プロポリスと代替医療」も開催され、プロポリスの効能に関して実際の3題の講演があった。

また交流ホール(展示場)には同協会が出展ブースを設け、会員企業によるプロポリス製品の展示、パンフレットやサンプルの配布があり、関心を集めていた。

■編集後記 先号で台風と熊の夏と書いたところへ、今度は地震。生産物関係では中国産ローヤルゼリーから抗生物質の検出が相次ぐなど、今年は結局いいニュースがなかった分、来年に期待したいという気持ちになる師走に早くも突入。松浦先生の連載は今回の第7回で完結。1月には7回分をまとめて1冊に組み直して出版の予定。白黒でしか紹介できなかった写真の一部を表紙にカラーで掲載する。第7回で登場したニュージーランドからは医薬品品質のハチミツ生産に関する記事を掲載した。また読売新聞の記事で話題になったミツバチのkakugo(覚悟)ウイルスについては、原著の著者である東大久保研の皆さんに本誌用に書き下ろしていただいた。静岡県立大学グループのグループにはプロポリスの医薬効果の前提となる含有成分の体内動態についての解説をいただいた。1月9日には恒例の研究会を開催。よいお年をお迎え下さい。(純)